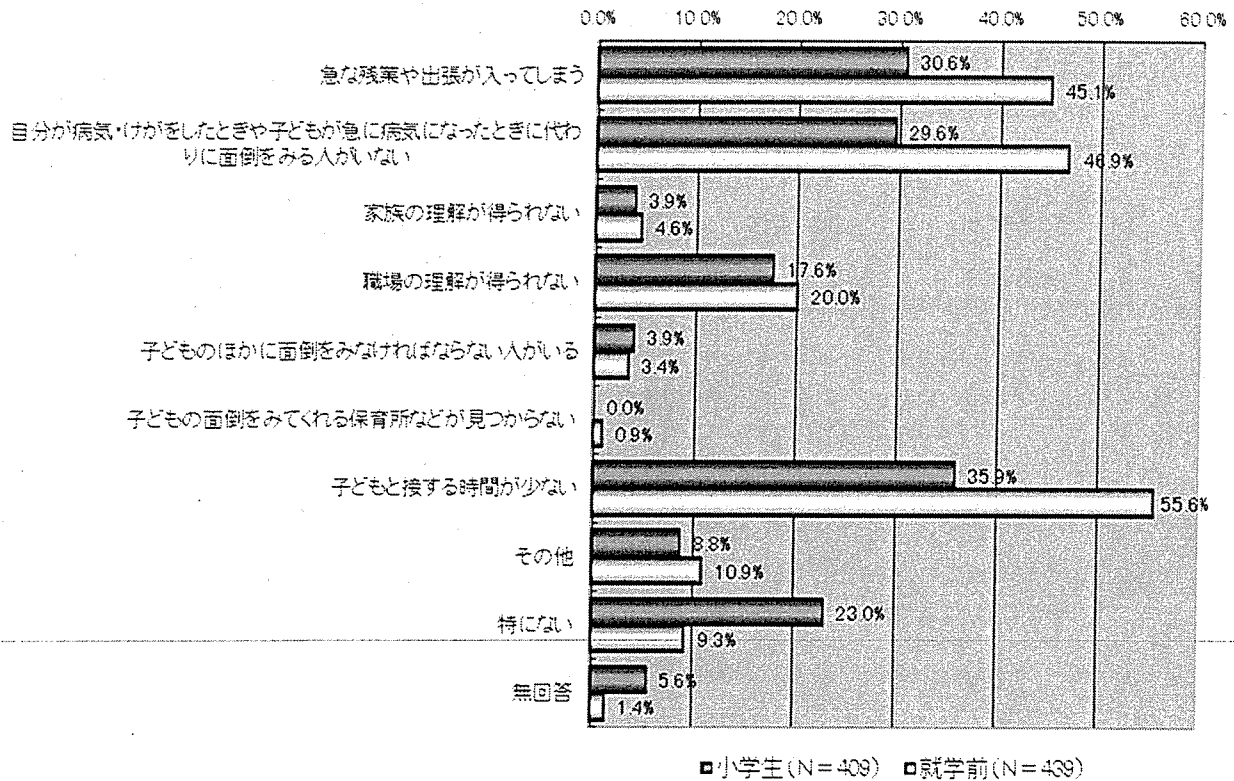


【仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること】 《複数回答》

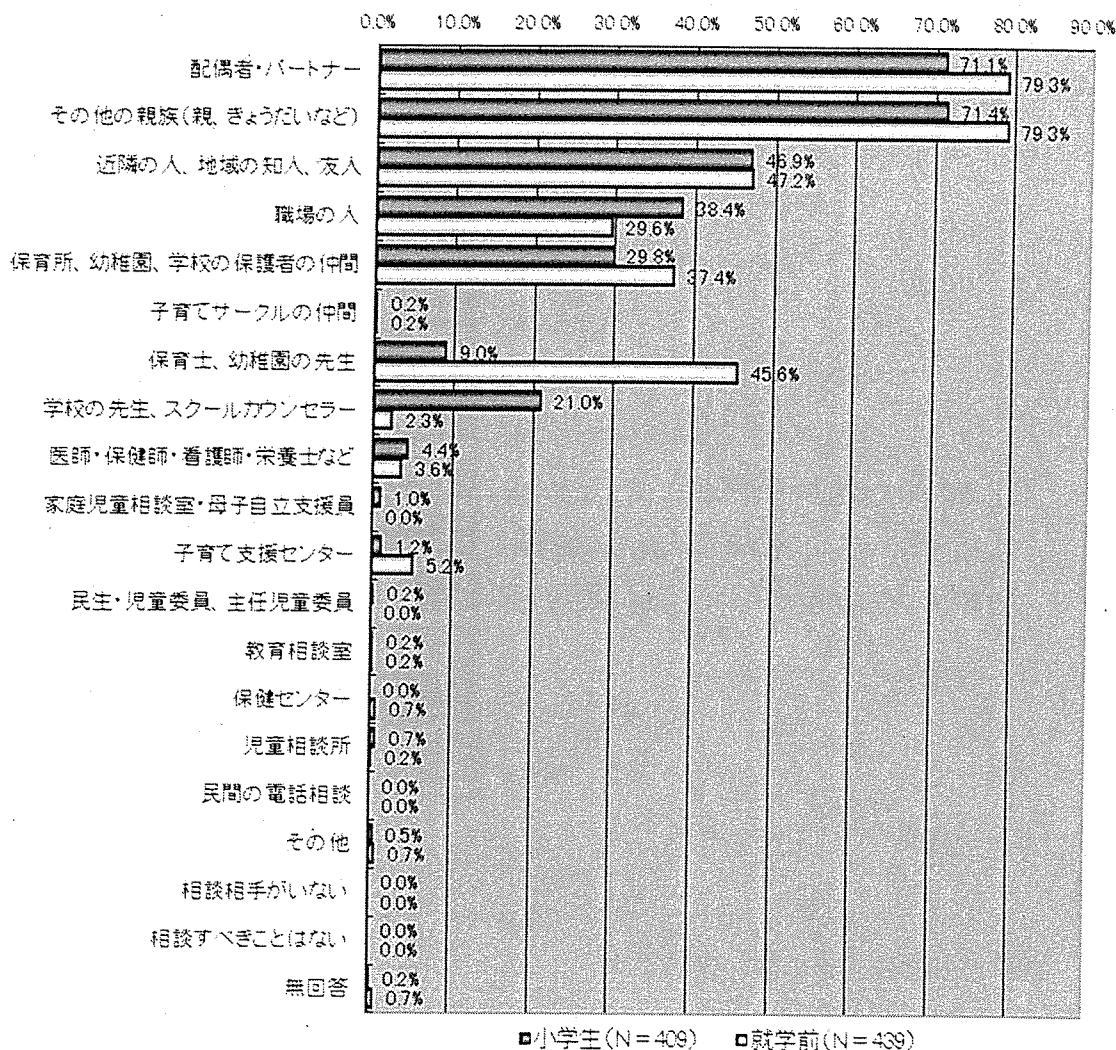


(6) 子育てに関する相談相手

子育てをする上で、気軽に相談できる人、場所の有無については、就学前児童、小学生の保護者とも9割以上があると回答しています。

子育てに関する悩みや不安の相談相手については、就学前児童の保護者の8割、小学生児童の保護者の7割が、「配偶者・パートナー」「その他の親族」、それぞれの5割近くが「隣近所の人、地域の知人、友人」となっています。その他、就学前児童の保護者では、「保育士、幼稚園の先生」「保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間」、小学生の保護者では、「職場の仲間」「保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間」「学校のスクールカウンセラー」などがそれぞれ上位を占め、身近な人や「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」「スクールカウンセラー」がその多くを占めています。

【子育てに関する悩みや不安の相談相手】《複数回答》



(7) 子どもを取り巻く環境

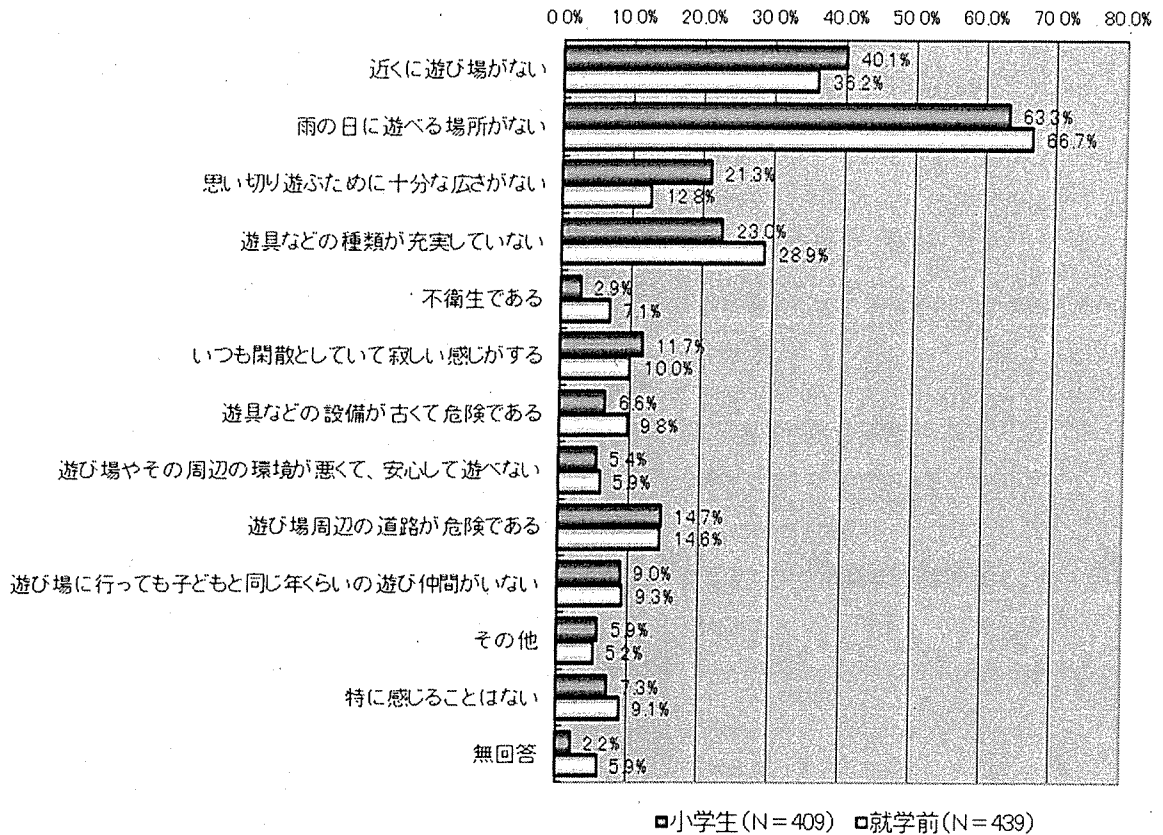
①子どもの遊び場について

家の近くの子どもの遊び場について日頃感じていることでは、「雨の日に遊べる場所がない」をあげた人が就学前児童、小学生児童のいずれの保護者とも6割を超え、最も多くなっており、「近くに遊び場がない」がそれぞれ約4割と続いています。

その他に、就学前児童の保護者では、「遊具などの種類が充実していない」「思い切り遊ぶための十分な広さがない」「遊び場周辺の道路が危険」「いつも閑散としていて寂しい感じがする」「遊び場に行っても子どもと同じ年くらいの遊び仲間がいない」が上位を占めています。

小学生児童の保護者でも、「遊具などの種類が充実していない」「思い切り遊ぶための十分な広さがない」「遊び場周辺の道路が危険」「いつも閑散としていて寂しい感じがする」と続き、概ね就学前児童と小学生児童の保護者とも同様のことを感じています。

【子どもの遊び場に対する評価】《複数回答》



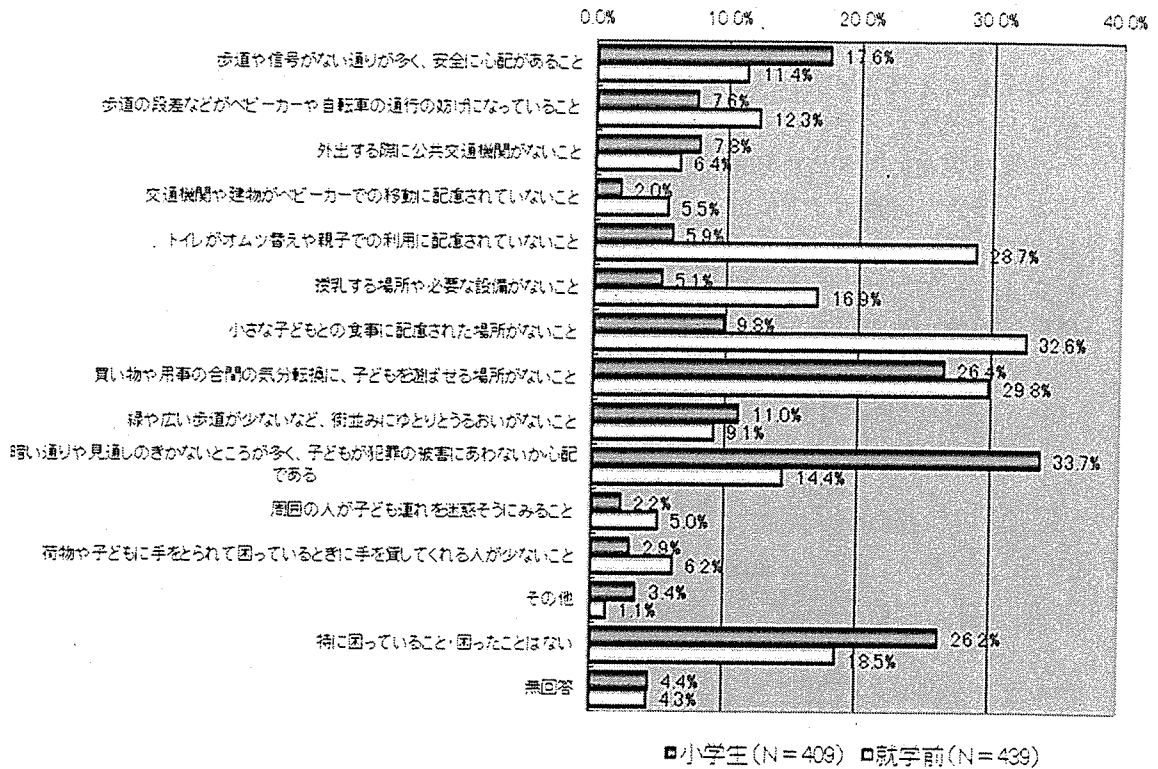
②子どもとの外出の際、困ること

子どもとの外出の際、困ること・困ったことについて、就学前児童の保護者については「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」がほぼ同じ割合となっており、その他には「授乳する場所や必要な設備がない」「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」などが主な回答となっています。

小学生児童の保護者では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあわないか心配」が最も多く、続いて「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配」「緑や広い歩道が少ないなど、町並みにゆとりといるおいが少ないこと」が上位を占めています。

就学前から小学校に上がると、子どもたちだけで外出する機会が増えるため、「交通の安全」や「防犯の被害」といった問題が強く意識されるようになっていくことがうかがえます。

【外出の際、困ること・困ったこと】《複数回答》



(8) 行政サービス等の利用状況等

① 認知状況

行政等が実施しているサービスの認知状況について、就学前児童の保護者の認知率が最も高いのは「保育所や幼稚園のオープンデー」「児童館・児童センター」「マタニティサロン、母親・両親学級、育児相談」「くらし子育て応援ガイド」「子育て世帯買い物応援事業」「ファミリー・サポート・センター」「くらし子育て応援ぶっく」「保健センターの情報、相談サービス」の順となっています。

小学生児童の保護者で認知度が高いのは、「児童館・児童センター」が9割を超え、続いて「くらし子育て応援ガイド」「子ども子育て買い物応援事業」「家庭児童相談室（市子ども家庭課内）」、「教育相談センター・教育相談室」「倉吉市保健センターの情報、相談サービス」の順となっています。

② 利用状況

行政等が実施しているサービスの利用状況について、就学前児童の保護者の利用率が最も高いのは「保育所や幼稚園のオープンデー」、続いて「子育て世帯買い物応援事業」「児童館・児童センター」「園庭等の開放」、続いて「子育て支援センター」「児童館・児童センター」「マタニティサロン、母親・両親学級、育児相談」の順となっています。

小学生児童の保護者の利用率が最も高いのは「児童館・児童センター」、続いて「子育て世帯買い物応援事業」「くらし子育て応援ガイド」「倉吉市保健センターの情報、相談サービス」の順となっています。

「教育相談センター・教育相談室」「家庭児童相談室」「倉吉市保健センターの情報、相談サービス」は、認知率と利用率の差が特に大きく、これらのサービスは認知されているにもかかわらず、利用者が少ないといえます。